

東小金井駅北口まちづくり事業用地整備活用計画（案）修正対照表

頁	行	計画（案）	計画（素案）	修正理由
5	3	市民参加での議論を積み上げてきたところです。 <u>また、平成24年6月には、公共施設の機能及び規模並びに起債・補助金等の財源等について市に対して確認を求めました。市は庁内ワークショップを開催して、平成24年8月に検討結果を報告し、策定委員会ではその内容についても参考としました。</u>	市民参加での議論を積み上げてきたところです。	平成24年5月24日付け「今後の検討に向けた委員長メモ」（資料49）に基づく、市役所内部（庁内）での検討過程について記載漏れとなっていたため追加
5	5	策定委員会では、東小金井駅北口まちづくり事業用地整備活用計画（素案）をまとめ、平成24年9月23日に市民説明会を行うとともに、平成24年9月から10月にかけてパブリックコメントを実施しました。	策定委員会では、東小金井駅北口まちづくり事業用地整備活用計画（素案）をまとめ、平成24年9月23日に市民説明会を行うとともに、平成24年9月から10月にかけてパブリックコメントを実施します。	パブリックコメント実施後であるため、文章を整備
7	2	望ましい施設が多いと考えたことに加え、市の公共施設整備計画が策定されていないこと及び庁内ワークショップでの検討結果を踏まえ、東小金井駅地域には「多目的複合」の施設を整備するべきであるとし、	望ましい施設が多いと考え、東小金井地域には「多目的複合」の施設を整備するべきであるとし、	市の公共施設整備計画が策定されていないこと及び庁内検討結果も「多目的複合」の施設とするべき理由であるため。
7	12	状況の変化にも対応すべきとしています。	状況の変化にも対応できるようなすべきだとされています。	策定委員会での議論であるので、文章を整備
7	13	図書館のニーズは高いと策定委員会でも考えました。	図書館のニーズは高いと策定委員会でも考えられました。	策定委員会での議論であるので、文章を整備
7	36	選択肢としてはいかがという議論がありました。 <u>なお、民間活用の検討に当たっては、一定の条件を設けた上で、売却の可能性についても検討をしましたが、策定委員会では、駅前のもつ面積の土地を市が確保できることはまれであり、市民が広く活用できるよう、I期①2,024㎡、②1,080㎡及びII期の③1,622㎡など大規模でまとまった土地については、市による保有が望ましいと結論しました。</u>	選択肢としてはいかがという議論がされました。	策定委員会での議論であるので、文章を整備 売却についての策定委員会での検討が記載漏れとなっていたため追加
9	1	3 整備・活用の検討内容	3 整備・活用の選択肢	策定委員会での検討内容を説明する部分であるため。

頁	行	計画（案）	計画（素案）	修正理由
9	3	最適な公共施設の整備及び公共資産の活用について、 <u>市民ニーズを起点に公共・公益性と民間活用・事業採算性を軸に検討を進めました。</u> そして、(A) 公共施設優先型、(B) 民間活用優先型、(C) 広場と一体となった交流施設型の3パターンを平成24年3月の市民ワークショップ（第2回）で中間報告し、 <u>更に検討を重ねました。</u>	最適な公共施設の整備及び公共資産の活用について、(A) 公共施設優先型、(B) 民間活用優先型、(C) 広場と一体となった交流施設型の3パターンに <u>絞り込んで、検討を重ねてきました。</u>	何を基準に検討した結果、3パターンとなったかを説明するため。 3パターンについて、市民ワークショップ（第2回）で提示した点が記載漏れとなっていたため追加
12	1	民業圧迫等への配慮が必要と <u>しています。</u>	民業圧迫等への配慮が必要と <u>されました。</u>	策定委員会での議論であるので、文章を整備
12	3	専門家による採算実現可能性調査では、食品スーパー、専門店モール、住宅展示場及び集合住宅等について高い採算性が見込めるとされました。しかし、策定委員会で検討を重ねた結果、 <u>公共性及び地域活性化の観点からこれらの施設は導入の選択肢に入れないこととなり、民業圧迫とならず採算可能性のあるものの例として、医療モール、サービス付き高齢者向け住宅が挙げられました。</u>	専門家による採算実現可能性調査では、食品スーパー、専門店モール及び住宅展示場等について高い採算性が見込めるとされました。しかし、策定委員会で <u>慎重に検討を重ねた結果、地元の民業圧迫に繋がる懸念からこれらの施設は導入の選択肢に入れないこととなり、民業圧迫とならず採算可能性のあるものとして、医療モール、サービス付き高齢者向け住宅が挙げられました。</u>	p.8の図に基づき、記載漏れとなっていた集合住宅を追加 食品スーパー等を選択肢外としたのは、公共性及び地域活性化の観点からであるため。また、医療モール、サービス付き高齢者向け住宅は、例として挙げられたものであるため。
15	1	4 整備すべき公共施設の財源等 <u>(3案の比較)</u>	4 整備すべき公共施設の財源等	財源について3案を比較している部分であるため。
19	1	5 <u>結論</u>	5 <u>事業化に向けて</u>	結論を述べる部分であるため。
19	15	起債及び補助金等において、 <u>3案の中で格段の実現可能性を有するためです。</u>	起債及び補助金等において格段の実現可能性を有するためです。	3案の比較の中で実現性が高いものであったため、文章を整備
21	16	「 <u>やさしさと生きがいの拠点</u> 」として	「 <u>生きがいとやさしさの拠点</u> 」として	誤植の訂正